日新鐘

第27号

第61回甲府中学・甲府一高　東京同窓会

日に新た、五輪とともに～さらなる高みをめざして～

祝

第61回　甲府中学・甲府一高東京同窓会

～たて・よこ　織りなす絆～

東京四四会

フコク生命は、
「ハローキティ」とともに
夢と安心をあなたにお届けします!!

HelloKitty

「ハローキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。
©1976, 1999, 2020 SANRIO CO., LTD.　APPROVAL No. G603423

富国生命保険相互会社　〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-2　☎ 03-3508-1101(大代表)

㊟広・秘書-2903（2020.3.12）

すてきな未来応援します
フコク生命

やまなし情報発信サイト
見たい、知りたい、やまなしのとっておき。
ふじのーと

富士山や自然に関する情報、観光情報やグルメ情報を発信し、
山梨県の魅力をみなさまへ提供していきます。

山梨中銀　インターネット 富士山支店

ふれあい、さわやか
山梨中央銀行

山梨の情報を発信
ふじのーと

山梨懸立甲府中學校校歌

作詞：三井甲之
作曲：東京高等音樂學院

一、我等は日本に生まれたり
神の御代より一系の
皇統戴く我國に
生まれしことのうれしさよ
皇國の榮えは天地と
共に窮りなかるべし

二、大和島根に山めぐる
甲斐の國あり水清き
郷土の歴史顧みよ
我等の務め輕からず
見よや南に富士ヶ嶺は
皇國の鎮めと聳えたり

三、大海原の揺りやまぬ
波をも風をも凌ぎつつ
護れ皇國を諸共に
國民擧りて國のため
撓まず萎縮まず辟易がず
進むぞ大和ごころなる

山梨県立甲府第一高等学校校歌

作詞：上条馨
作曲：小松清

一、甲斐の国　み中に建ちて
古へゆ　雄心伝へ
新しき　世の鑑とし
勉めてむ　この学舎に

二、日に新た　また日に新た
弥高き　のぞみをもちて
真なる　理究め
励みなむ　若人我等

三、聳え立つ　芙蓉の高根
清き哉　甲斐の山川
もろともに　玉と磨きて
賛くべし　天地の化育

日新鐘によせて

東京同窓会　会長
清水　昭（昭和44年卒）

今年の東京同窓会のテーマは「日に新た、五輪とともに～さらなる高みをめざして～」だ。

テーマの決定は、COVID-19の国内外での流行前で、1964年以来の二度目の東京オリンピックを迎える前週の2020年7月11日開催に向けて準備をしているときであった。

その後、世界的流行が、わが国にも波及し、昨年は我が同窓会活動も全てが停止に追い込まれた。今年もコロナは収束どころか次から次へ変異を続けて、人類に対して猛威を振るっている。先端医療を駆使しても、まだウイルスに勝てない状況が今後も続くであろう。

そんな中にあり、今年の当番学年には2年越しの活動を委嘱せざる得ない状況であった。この間の筆舌に尽くしがたい努力に対して、会を代表して深甚なる謝意を表したい。

役員会・幹事会で智慧を絞り、今年の総会は懇親会開催を見送り、総会と講演会に絞ってのオンラインによるハイブリッド開催となった。

ハイブリッドでも開催を模索した背景には、小生が関与しているNPO法人健康医療開発機構　第14回　健康医療開発機構シンポジウムで飯島　勝矢氏（東京大学高齢社会総合研究機構　機構長、東京大学未来ビジョン研究センター教授）にお願いした「高齢者の〝コロナフレイル〟、そして地域社会におけるニューノーマルとは」と題してのリモート講演会の内容がある。飯島氏は、これから我々は健康寿命を伸ばすことが大切で、そのためには口腔ケアに加えて食（栄養）と運動（身体活動）、そして社会参加（地域とのつながり、人とのつながり）がとても重要であることを強調されていた。

その講演を聞いていて思い出したのが、昭和13年甲府中学ご卒業の古守豊甫先輩（次男豊典医師は一高44卒の小生の同級生）のライフワークである、櫛原村（現上野原市）での長寿に関する研究である。古守先生は昭和43年に長寿村櫛原を発見し、その秘訣が雑穀にあるとした。村民は終生、傾斜地の土地で野菜なども作るので足腰は鍛えられ、寄合とか無尽で村民の繋がりが強いことが健康長寿を実現していた。

今は、車社会で、西洋式食事形態と個人主義が行き渡り、良き伝統は廃れてしまっていて、そこにはもう健康的長寿社会はない。この点はもう少し詳しく今日の講演で小生が話す予定である。

健康長寿を維持されておられる同窓諸氏と懇親会で杯を傾けながら、「日に新た、五輪とともに～さらなる高みをめざして～」のテーマに沿った意見交換や率直な議論をしたいのだが、コロナ禍対策で行えないのは残念である。

コロナと共生せざるを得ない時代の新たな同窓会活動の一環として、今日の集まりがIT技術を活用し世代を超えた交流の場となること。さらに、同窓生相互に縦と横の絆を深めて更なる高みを目指す機会となることを期待する次第である。

日新鐘に寄せて

一紅会　会長
峯川　文江（昭和44年卒）

1年半前までは、みんなが集える同窓会が普通だと考えておりましたが、このコロナ禍で、それはとても貴重で幸せなことだと思うようになりました。2年ぶりの東京同窓会総会・講演会の開催を心よりお祝い申し上げます。

昨年2月中旬、一紅会主催「春の講演会」の準備は順調に進み、私達は当日をとても楽しみにしていました。しかし「新型コロナウイルス」が急速に広がり、300名以上もの人々が集まる講演会を開催してよいのか？　延期すべきか？　中止か？　苦渋の決断を迫られました。悩んだ末に「9月22日に延期」と決め、学年幹事を通し、参加登録をしてくださった方々に連絡をいたしました。みぞれ混じりの寒い日となった当初予定日の昨年3月14日、更なる感染拡大のニュースを聞きながら「延期して良かった」と、ホッとしたことを思い出します。

「人」と「人」が交わることが、同窓会の最大の目的であるにもかかわらず、コロナ禍では、人が会い交わることは、「密」で、避けなければならないことです。今年は「同窓会にリモート参加」という、以前には考えてもみなかった新しい形式で開催されることとなりました。

一紅会でも、幹事会などの活動はできておりませんが、PJメンバーと感染対策のアイデアを出し合い、直接会場に来られない方のためにも講演会の録画をホームページに掲載したいと考えております。

今年3月、会場側から来年の一紅会の開催と会場使用に関する確認の電話をいただきました。会場側の心配りを大変嬉しく感じると同時に、これは偏に、先輩方々が毎年の一紅会の活動を継続し支えてきてくださった証であると、改めて感謝いたしました。

一紅会も2022年3月12日（土）に「第23回春の講演会」の開催を予定しております。

同窓会会員皆さまのご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

甲府第一高等学校校長
小林俊一郎

新型コロナウイルスの感染拡大が未だ収束の兆しが見えず、昨年度に続き令和三年度も、甲府中学・甲府第一高等学校東京同窓会の懇親会が開催できない状況にあり、誠に残念でなりません。しかしながら、同窓生の皆様には、平素より本校への物心両面にわたるご支援、ご協力を頂いておりますこと深く感謝申し上げます。特に、昨年は創立一四〇周年を迎え、記念事業として母校の教育環境の整備に甚大なるご支援をいただきました。誠に感謝の念に堪えません。お陰様で、このコロナ禍においても、ある程度の制約はあるものの、教育活動を前に進めることができております。

さて、英語科が探究科に改編され、今年三月に探究科の三期生が巣立ちました。創立一四〇周年の節目の年に、探究科、普通科ともに卒業生は素晴らしい進学実績を上げることが出来ました。別項目として「令和3年度進学状況」を掲載させていただきますので、そちらをご覧いただきたいと存じます。

また、九〇%を越える生徒達が部活動に励み、活躍しています。ア・カペラ部、弦楽部、美術部、書道部、写真部、放送部、文学部、将棋（個人）、山岳部男女、弓道部女子、アーチェリー部男子、空手部が全国大会へ、陸上部、水泳部、テニス部男子が関東大会へ出場を果たしました（R3.7.1現在）。

伝統行事の強行遠足は、本年度九十四回を数えます。コロナ禍において生徒及び協力者の安全面を考慮して、昨年と同様にゴール地点を山梨県内として、十月二日（土）の一日開催として実施します。

我々教職員一同は、今後も時代の変化に対応しながら一高の歴史と伝統を継承し、より一層の進化を期して一丸となって取り組んでまいります。

結びに東京同窓会の皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願いするとともに、益々のご発展とご健勝を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

第61回東京同窓会　幹事長

太田　清士（昭和57年卒）

我々昭和57年卒生は、2019年9月初旬に昭和56年卒の先輩方よりバトンを受け継ぎ、以来、総会並びに懇親会を盛大に開催すべく、当番幹事としての準備をコツコツと重ねてまいりました。そんな中、思いもよらぬCOVID-19というウイルスの影響を受け、2020年度全事業中止という同窓会史上前例のない事態となり、当番幹事としての総会・懇親会の準備活動も中断を余儀なくされました。

やがて2021年度がスタートし、役員の皆様より、今年度も引き続き57年卒が当番幹事を担当するようご指示を頂き、準備活動を再開することとなりました。しかしながら、コロナ禍終息の兆しは未だに見えず、感染防止の観点から、本年は全く違う形式での開催をせざるを得なくなりました。

本年は、ハイブリッド（対面＋オンライン）形式により、総会と講演会を実施することになりましたが、本来の目的でもある「同窓生の懇親」を実現するための懇親会を開催することができず、とても残念でなりません。今後、コロナ禍を乗り越え、安心して懇親会を開催できるような日常が訪れることを強く望んでいます。

2年越しのテーマ「日に新た、五輪とともに～さらなる高みをめざして～」を掲げて準備を進めてまいりました。前回の東京オリンピックが開催された昭和39年に0歳もしくは1歳であった我々57年卒生が、2回目の東京オリンピック開催年に当番幹事を担当するということに、ある種の感慨を覚えています。母校の歴史を振り返りつつ、日に新た、さらなる高みを目指してバトンをつないでいきたいという思いを胸に、このテーマとしました。

本年の東京オリンピックは無観客という異例の形式での開催でしたが、結果はメダル数過去最高であり、大成功を収めました。東京同窓会も、本年は新たな形式での開催でございますが、このような状況下であっても、少しでも同窓の皆さまの縦横の絆を深める機会としていただくことができましたら、この上なくありがたいことでございます。初めての試みゆえ、至らぬ点もあろうかと存じますが、何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

結びに、協賛金、日新鐘への広告並びに投稿のご協力をいただきました皆様、ご挨拶を頂戴いたしました皆様、そして、本日ご参加いただきました同窓生の皆様、日新鐘をご購入いただいた皆様に厚く御礼を申し上げますと共に、皆様方のご健勝をお祈り申し上げて当番幹事長の挨拶とさせていただきます。

2021年　第61回甲府中学・甲府一高　東京同窓会

日に新た、五輪とともに～さらなる高みをめざして～

記念誌　日新鐘　第27号　目次

甲府中学・甲府一高　校歌　1

日新鐘に寄せて　ごあいさつ　2

東京同窓会　会長　清水　昭　2
一紅会　会長　峯川　文江　3
甲府第一高等学校　校長　小林　俊一郎　3
第61回東京同窓会　幹事長　太田　清士　4

目次　5

特集1　「首都圏で活躍する一高卒業生」

一つひとつ積み重ねていく体験を　俳優 筒井真理子さんインタビュー　6
50年を経て　２つの国立競技場　大成建設株式会社　上田　俊彦　12
とっぱズレからの脱却　ヤマサ醤油株式会社　小泉　一昌　23

（お知らせ）　一紅会主催　講演会　25

特集2　「オリンピックに参加した一高生」

２度のオリンピックの経験　恒吉　恵子　26

特集3　「56年前(前回東京五輪）の甲府一高」

あの頃の一高　（1964年）のオリンピック開催時の一高　28

現在の一高

一高の一年（令和２年度）年間行事　30
令和３年３月卒業生の進学状況　34

編集後記　38

特集1　首都圏で活躍する一高卒業生

一つひとつ積み重ねていく体験を

――俳優　筒井真理子さん（昭和54年卒）

筒井真理子（つつい・まりこ）
山梨県甲府市出身。1982年早稲田大学在学中に、第三舞台に在籍し初舞台を踏む。映画、テレビドラマ、CMと活躍の場を広げている。映画「淵に立つ」で第71回毎日映画コンクール女優主演賞受賞。映画「よこがお」ほかで第70回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2021年は連続ドラマ『JAM-the drama-』（監督：SABU）、舞台『パ・ラパパンパン』（演出：松尾スズキ）に出演。また、公開映画・ドラマが多数控えている。

――インタビューは2020年2月、映画「影裏」の舞台挨拶後に行われました。

編集部（以下編）今日はおめでとうございました。大きな劇場が満員だったのでは。

筒井真理子さん（以下筒井）もう1分で完売だったみたいです。出演の松田龍平さん、綾野剛さん、監督の大友啓史さんのお力です。大人の女性が多くて、終わった後もしっとりしたいい雰囲気でした。

編　原作小説があって、岩手でロケをした作品なんですね。

筒井　原作は文学界新人賞のあと、芥川賞をとった小説で、大友啓史監督は大河ドラマや「るろうに剣心」など、アクションもある大作映画も撮ってきた方ですが、この作品は以前から撮りたかったらしくて「静かに興奮してます」とおっしゃっていましたね。「大人の人に見てもらえる映画も撮りたかったので」と。

編　この作品に出よう、と決めるときは、何が決め手になるんですか。

筒井　監督やスタッフが誰か、という「座組」を考えたりもしますが、もともとどんなことにもチャレンジしたくなる性格なので、スケジュールがあれば、という感じでもあったりします。一番大事にしているのはやはり脚本でしょうか。

活発だった一高生活

編　高校に合格して、一高に決まったときのことは覚えていらっしゃいますか。

筒井　上の姉は総合選抜の南、下の姉は女子校の二高に行っていてそれが選抜の西高になり、野球をやっていた兄は野球部のないこの西高に入り、野球部を一から立ち上げるのがちょっと辛かったみたいです。末っ子の私は、それほどのこだわりはなかったです。

入学してみると、午前中から、下駄のカランコロンという音とか、竹刀のパシッパシッという音が聞こえて。今もそうですか？

編　今もやっています。

筒井　それはいいですね。

応援練習も、午後2時間を3日間くらい？　シンバルの音にびっくりしました。

編　当時から演劇や、演じることに興味があったんですか？

筒井　いいえ、全然。フィギュアスケート部に入っていました。今日の舞台挨拶でも、なりたかったものは？　と順番に聞かれて、フィギュアスケーター、と言ったらうけたんですよ。意外だったんでしょうか。

アイスパレスで練習したり、夏は品川プリンスホテルにアイススケート場があって、そこで合宿したり。砂浜を男子と女子が一緒に走るんですけど、私は男子の後ろについて、女子の先頭を走ってたんです。しんどいなー、と思いながら砂浜を走って、Uターンしたら残りの女子はみんなはるか後ろを走っていて。

それを見た瞬間に「あ、いいんだ」と思って、ほかの女子のペースに落としました。私は走ろうと思うと走るんです。強行遠足も、1、2年の時はたしか雨で女子は中止でしたけど3年生の時は3位でした。

編集部一同　おおーっ。

筒井　ほとんど走り通しでした。小海まで42キロ、ちょうどマラソンと同じ距離で、足止めなければ走れるかなって。

劇団も体育系でしたし。第三舞台という、早稲田大学の演劇研究会の劇団で、「男子も女子も、板（舞台）の上にあがるのは変わらない」ということで、今考えれば体を壊すような、うさぎ跳びとか、腹筋も脚をまっすぐにして人が乗って、というようなメニューでした。

実際坐骨神経痛みたいになって、整体の先生に見てもらったら、そんな運動は腰を壊すためにやっているようなものだからやめなさい、って。でも先輩には「甘えたこと言うな」って言われて、結局そのまま、脚がしびれたままやってました。でもなんとか治るんですよね。一高精神です。質実剛健。

思い出といえば一年生の時、端のほうにある校舎の一階で、そこから見える花壇がすごくきれいでした。サルビアとか植えられていて、生物の先生でしたか、大木先生が手をかけていらして。窓側の席から眺めていると、あまりにきれいなので気持ちよくなって眠くなってくるんですよね。（笑）。

演じるという作業

編　トレーニングの話が出ましたが、劇団時代からキャリアを重ねていく中で、自分を鍛えたり、時には甘やかしたりということを意識的になさっているのではないかと思うんですが。

筒井　意識して何かするというよりは、疲れたら自然に眠っているんじゃないかという気がします。ロケで地方に行くことも多いのでどこかに旅行に行ったりもしないですし。何かのときまで取っておくお愉しみ、みたいなものもないですし。おいしいものを食べるくらいでしょうか。

この仕事をやっていて、一つの作品に入ると、演じる人の職業であるとか、やはりリサーチが必要になってきます。リサーチは大変なんですけれども、いろんな発見があって、この発見が面白いんです。いろんな職業があるし、「へえ」と思うこともたくさんあります。

心理学の勉強も面白くて。アメリカの演技講師の方とか、心理学の資格を持っている方が多くて、それはすごいと思います。私たちの時代にはメソッドみたいなものは日本にほとんどなかったんですけど、最近はハリウッドから講師が来て、ワークショップみたいな形の講義とかあったりするので、そういうのを見に行ったりします。

演劇とか演技って、その人その人個人のセンスとか才能によるという考えもありますけど、でも、きちんと積み上げられるものだと思うんです。

同じ年代の人とよく話すんですけど、私たちが仕事を始めたころはそんなものがなかったから、自分流だったんです。その自分流と同じようなことが、理路整然とわかりやすく、本になっているんですよ。

編　演技と心理学がリンクするんですか。

筒井　心理学も必要です。たとえば、台本って、人の話じゃないですか。自分ではない人を演じるために、自分のことにするためにアプローチするんですけど、向こうでは当たり前に「パーソナル化」という言葉があるんですよ。自分のものにするという意味です。

似た体験をするとか、いろんなアプローチの仕方があって、たとえば自分の役と相手役との関係を置き換える。相手役を自分の母親と置き換えると、関係性が出てきます。積み重ねていってちゃんとできるものなんです。日本ではまだ少ないんですが。でもすごく勉強している若い人たちがいて、一緒に練習したりとかがとっても楽しいんです。

俳優という仕事は、なんとなくやっている、なんとなくでもできてしまう、という印象があると思います。でも、韓国には演じることを学ぶ大学がありますし、イギリスでは中学や高校で、「ドラマ」っていう授業があるそうなんです。授業の中で、台本があって役を演じるんだそうです。

役者の仕事って、ときには自分が大嫌いな人にでもならなきゃいけない。その人は嫌われようとしているわけではなくて、正しいと思って行動しているだけなんですよね。それを自分で演じられるくらいに理解する。たとえ殺人犯であっても理解せざるを得ないんです、

自分の立場から離れて他人の立場になるというのは、他者を理解するためにすごく必要なことだと思います。今は分断とかいっぱいあって、それは人を理解しようとしないことから始まっていると思うんです。他人を理解するために、学校で自分ではない人の役を演じる経験はすごく役に立つと思います。

演じるという作業は誠実にやればやるほど面白いし、人間の深淵も見ることができる。私は「自分は普通だ」と思っている人ほど実は普通じゃない、人間はみんな変なところをいっぱい持っていると思っているんです。

心理学は、他者を理解するのにものすごく助けになるところがあります。同じ世界で同じものを見ていても、その人の情報の切り方によって、見えているものはまったく別々だったりするんですよね。そういう、全員が他人だという前提から始めれば、あとは理解するしかないわけで。

逆に同じだと思っちゃうほうがこわいと思うし、本当に、たとえば心理学ではなくもっとやわらかい名前にして、日本でも授業にあったらいいのになあ、と思います。

私もそんなに、バランスの取れた性格ではないですけれど、昔のほうがもっと偏っていたので、心理学を学んですごく楽になったところもあるんです。

心理学に助けられた難役

筒井　２００８年に劇団KAKUTAの「目を見て嘘をつけ」という舞台で、性同一性障害の役をやったことがありました。最初、お蕎麦屋さんの長女の役と聞いていたのに、プロットが来たら長男、次男、三男、ってあって。女の役がないからどういうことだろうと思っていたら、筒井さんは長男の役だからって言われて、性同一性障害の役だったんです。そういう人たちの苦悩とか、どうしてそうなったのかとか、わからないと演じるのは無理なので、ちょっと待ってくださいってお願いしたんです。

それなのにみんなが大丈夫、大丈夫っていうし、まま舞台に突入したんです。そこまで違う人に自分がならなきゃいけないとなると、わかろうとするじゃないですか。そのときに心理学の本を読んだりすると、ほんとに、自分のちっちゃい頭で考えているものと違うんですよね。

全員のケースがそうだとは限らないと思うんですけど、もともと人間って女性なんですって。おなかの中でエストロゲンというホルモンがかかって男性になるんですけど、お母さんにストレスがあってエストロゲンがかからなかった場合は、脳みそは女性のまま。だから身体はちがうのに、ストレスのせいで脳みそは男性にならない、ということが起こってしまう。子供の頃はみんな一緒なんだけど、大人になったら胸が大きくなるものだと思っているんですって。それなのにそうはならないからどうしていいかわからなくなって、身内には相談できないし、って、そういう人が私の役で。一番自分と遠い役で、理解して自分と重ねるのに一番苦労した役でした。

演じること、ロールプレイみたいな、イギリスの「ドラマ」みたいなことは、小学校くらいのときに経験する機会があるといいと思うんですよね。いじめとか、大人になってからの争いとか、理解するしかないから。

編　いじめはいけないと思っていても、いざ演じてみたら気持ちよかったり、ということはありそうですね。

筒井　韓国には俳優を養成する大学があるし。当時金大中さんが国策として海外にも出せるものをつくる、経済としても売る、ということでいろいろ始めたらしいですけど。文化で経済を回すのはすごくいいと思いますよね。

編　印象に残った役を教えてください。

筒井　やはりその、舞台で演じた性同一性障害の役と、映画「よこがお」と同じ深田監督の「淵に立つ」で演じた主婦の役でしょうか。いろいろな人を演じるのが役者ではあるんですけど。

最初に入った事務所では、役のたびに髪型を変えたりいろいろしちゃうんで、「売れないよ、覚えてもらえないよ」って言われたんです。

編　どの役をやっても筒井さんだとわかってもらえないといけない。

筒井　そうすれば覚えてもらえるじゃないですか。でもそれもよくないのかな、という気もして。役になるのが仕事だから。

最近はカメレオン俳優っていって役ごとにどんどんイメージを変える人が出てきて。菅田将暉さんとか。今の時代のほうが合っているみたいです、自分が。そういう人が多くなってきていると感じます。

今は演技のメソッドがいろいろ入ってきていますが、これまで方法論もない中で、これでいいのかと思いながらチェックして、「これはよかったな」「これは失敗だったな」「なんでこれは悪かったんだろう」、ってその時の状況とか、全部振り返ると、けっこう失敗したときの状況とか似てるんですよ。周囲に気を使ってるときに、ひどい芝居になってるんですね。

ひとつ嬉しかったのは、久世光彦さんの作品、「夫婦善哉」というシリーズ化した連続ドラマだったんですけど、映画で司葉子さんが演じた役をキャスティングしてくださったとき。自分でなんかしっくり行かなかったな、と思うと、OKが出ていても帰れないんです。

スタッフさんの都合もあるし、もう一度やりたい、とは言えない。その時も、うろちょろうろちょろして帰れないでいたんですね。そうしたら久世さんに「どうして帰らないの、筒井さん」って言われて、「いやあ、ちょっと、さっきのシーンが…」っていうと、久世さんは「ああわかる、俺そういう役者さん好きだよ。たまにそういう役者さんがいるんだよね」。それでよく使っていただいたりした

んですけど。

どうしてか、帰れないんですよ。もう一度撮ってもらえるわけじゃないし、とっとと帰ればいいのに、ああ、あれはもう少しこう…、気持ちが足りなかったかなあ、集中力足りなかったかなあ、って。それは次に生かすしかないんですけど。でも切り替えができなくて帰れなくていたのを見つけてもらって、声をかけてもらったのは忘れられないですね。

アスリートの方なんかは、毎回ベストを出さなければいけない。大変だと思います。毎回ベストを出す。役者とアスリートは似ていますね。とくに舞台は。

昔の舞台も、昔だから当たり前に追い込まれる。追い込まれてもつぶれないでふっと抜けた人はいい顔をするんです。迷路から抜けた表情になるんですよね。同じ劇団で見ていて、あっ、この人抜けたな、って思うと、そこから変わってくるんですよね。人のこと言ってる場合じゃないんですけど。スポーツでもいい表情のチームが勝っています。アスリートと似ているな、っていつも思っています。

アスリートも昔は国を背負って、自分の集中力を保つだけですごく大変。修行僧のようでしたね。最近はアスリートにはメンタルトレーナーの人が付いて、指導者も増えて学べるところも増えていますね。

在校生に向けて

編　今一高で学んでいる在校生に向けて、アドバイスをいただけますか。

筒井　私たちのころは根性論全盛で、何かに向かって自分を追い込んで、追い込んで本番に臨む、というのが当たり前でした。それはやはり、かけがえのないものだと思うんです。もちろん反省点はあって今の、無理しないで楽しくやろう、という流れになっていることも理解しているつもりです。

ただ、すごくもったいないなと思って。みんなと楽しく過ごすことも大事だけれども、自分を、高みにというか、深みにというか、そういうところにもっていくために、自分の限界にストイックに挑戦する。その時に何か発見したり、ゾーンを体感することがあるんです。それは脳科学者の茂木健一郎さんが言う「アハ体験」じゃないけど、人間の一番の快感じゃないかと思うんですよね。何か一つ、トライしてみたらどうかな、って。

若い役者さん達との舞台に参加した時もあえてストイックに休み時間も稽古してみたんです。誰か真似するかな、誰か一人わかってくれればいいなと思っていたら、女の子が一人だけ、私の真似しました。彼女はすごく良くなりました。

一度ストイックに頑張って、できなかったことができるようになった楽しみを味わってほしい。何ものにも替えられない楽しみ、喜びなんですよ。小さくても一つひとつ積み重なっていくことって、すごく楽しい人生だと思うんですよね。

今は誰かが誰かを追い込むとなったらパワハラとかいうことになって否定される。私は逆に、そういう環境がないことがかわいそうかな、と思うんですよね。

自分の限界を超えようと思ったら、ある力が、自分でかけるのは大変ですから、別の人からかかったほうが楽なこともあるんですよね。それを味わいながら時間を過ごすときがあったら、きっと、より楽しいかもしれないよ、って感じですかね。

一時期、仕事をしながらもったいないな、と思って若い人たちを見ていた時期がありました。そのセリフの間、そこ、笑うといいのに何で笑わないんだろう、私がこの間を詰めたら笑う？　笑おうよ、って。試行錯誤でもいいんですよね。

そんなことをやって一つ、何かつかんだら、ほんとに楽しいんですけど、それは「あー楽しかった」って言う「楽しい」とは違うんだよ、うまく言えないんですけど、いいものですよ、と言いたいです。

今の若い人たちをひとくくりにはできなくて、すごくストイックな子もいます。何年か前に仕事をした、劇団に所属している若い人は、ストイックなほうのタイプでした。

編　楽しくやるだけではなくて。

筒井　貪欲になればもっと楽しいことが、楽しい瞬間がありますよと。私が演じた性同一性障害の役も、自分の想像力だけで演じようとしたら、嘘っぽくなっちゃうし、広がらなくて終わっていたんですよね。本を読んだりそういう方に会ってお話を聞くことで、よく私言うんですけど、「脳みそがメリッ、っていう」。脳みそが一ミリくらい大きくなる。ほんのちょっとですけど、その瞬間がたぶん、茂木先生の言う「アハ体験」だと思うんです。

これはこの上ない楽しみなので。みなさんもぜひ、部活でも趣味でもなんでもいいので体験してほしい。ドリブルがなんでいつも取られちゃうんだろう、じゃ、取られないようにするためにはどうすれば、っていうふうに。あきらめないで、っていうと一般的な言葉になっちゃいますけど。

編　今後について、描いているストーリーがあったら教えてください。

筒井　これからもずっと、元気なうちはいろんなことにトライしてみたいなと思うし。意外と遅まきなので、これから人生楽しくなっていったらと思うし、私より年齢が上の方もたくさんいらっしゃるので、あまり常識にとらわれて小さくまとまるのではなくて、面白いことはなんでもやってみようみたいな感じですかね。楽しそうなことがあったら、積極的に挑戦してみたい、ずっと挑戦してみたい、ですかね。最終的にどこに行くのかはわからない。

編　ありがとうございました。心理学のお話が印象的でした。アメリカのアクターズスクールの番組とか見ると、びっくりします。

筒井　日本では俳優というジャンルがあいまいなところがあって、昔は俳優座とか、切磋琢磨する場所があったりしたのかもしれないですけど。それとは別に海外で勉強して帰ってきた方とかいるので、そういう方はそれを踏まえてお仕事をされているなと思います。

卒業してからわかるんですよね。強行遠足とか応援練習とか。こうして外に飛び出してみると、ありがたいというか、一高でよかったと思います。

（文責　日新鐘部会）

特集1　首都圏で活躍する一高卒業生

50年を経て。2つの国立競技場。

昭和57年卒　上田　俊彦【大成建設㈱勤務】

はじめに

入社してすでに30数年。エンジニアとして工場を中心とした多くの建物や施設の設計・施工の実務に携わってきました。世界最先端の電子デバイス用のクリーンルームの建設、24時間連続稼働の全自動化工場など、建築、土木、機械、電子などの異分野の技術やシステムをマネジメントするゼネコンでしかできないようなエンジニアリングを数多く経験することが出来ました。一高生の時に描いた建築デザイナーの道は歩めませんでしたが、建築家・エンジニアとして楽しい会社人生活を過ごせたと思っています。

こんな建築家・エンジニアの私が『これは凄い』という仕事を大成建設では数多く手掛けています。富士山頂に建てられた富士山測候所、アジアとヨーロッパを結ぶボスポラス海峡の海底トンネル、狭隘な都市スペースで建設される超高層建築、巨大なダム・橋梁などの土木事業。日本の建築・土木業界を代表するプロジェクトを数多く完成させてきました。そのような多くのプロジェクトの中で、国立競技場の建設プロジェクトは、規模が大きいばかりでなく、活用された技術のレベル・品質の高さなど、大成建設が社会に誇れる代表的なプロジェクトです。

本稿では、設計・施工者目線で国立競技場を概説するとともに、今から約半世紀前に当時の最先端技術を用いて大成建設が施工した旧国立競技場（国立霞ヶ丘競技場）の建設についてもご説明します。

新・旧の国立競技場をお見比べ下さい。技術の進化、東京の変化をお楽しみください。

国立競技場

2019年11月30日に完成した国立競技場。世界に誇る日本らしいスタジアムとして、様々な技術と創意工夫が盛り込まれました。

コンセプトは、「杜のスタジアム」。

軒庇は、日本の伝統建築の特徴を継承したもので、その水平ラインと深い陰影によって、神宮の杜の木々と調和します。また軒庇の木と緑の外観は人々に優しい温もりを提供しています。ナショナルスタジアムとして軒庇には47都道府県から調達した木材を使用。大屋根にも木材と鉄骨を組み合わせたハイブリッド構造を採用し、全ての観客、アスリートが木の温もりを感じられる日本らしい空間となっています。

夏の卓越風を効率的に取り入れ、スタジアム内の温熱環境を向上させるなど、自然エネルギーを最大限有効活用した環境共生型スタジアムを実現しています。

大成建設の技術の粋を結集して築き上げた国立競技場。新しい時代のスポーツと文化を発信するスタジアムとして、末永く活用されていくことでしょう。

国立競技場（JAPAN NATIONAL STADIUM）

発注者：独立行政法人日本スポーツ振興センター
事業者：大成建設・梓設計隈研吾建築都市設計事務所共同企業体
┌設計：大成建設・梓設計隈研吾建築都市設計事務所共同企業体
│監理：大成建設・梓設計隈研吾建築都市設計事務所共同企業体
└施工：大成建設
敷地面積：約109,800㎡
建築面積：約69,600㎡
延べ面積：約192,000㎡
施設概要：地上5階、地下2階、高さ約47m、S造 一部SRC造・RC造
観客席数（竣工時）：約60,000席うち車椅子席約500席
事業期間：2016年1月30日～2019年11月30日
所在地：東京都新宿区霞ヶ丘町10番1号

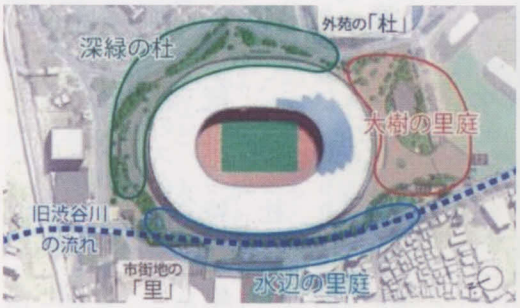
これが新しい「国立競技場」だ！

周辺環境と調和し、市民に開かれた「杜のスタジアム」

緑豊かな神宮の杜との調和を求めて

約100年前に国民の寄付と勤労によりつくられた明治神宮外苑は、緑が大きく育ち、東京の貴重な景観資源となっています。そこに立地することを踏まえ、国立競技場は外苑と調和するように3つの緑に包み込まれています。『外苑と一体となる緑』、『象徴的な大樹の林立する緑』、そして『渋谷川の記憶を継承する水辺のある里庭の緑』です。さらに建物では、周囲の緑と呼応するように軒庇の上部にプランターで緑をめぐらし、5階の空の杜では、季節感の豊かな彩のある日本的な緑化をしています。建築が周囲の緑と調和し、季節によって彩られる、優しい表情のスタジアムとなりました。空の杜を一周すると、外苑の緑の大海原の先に現在の東京の姿を一望し楽しめます。東京の新しい名所となるのでは、と期待しています。

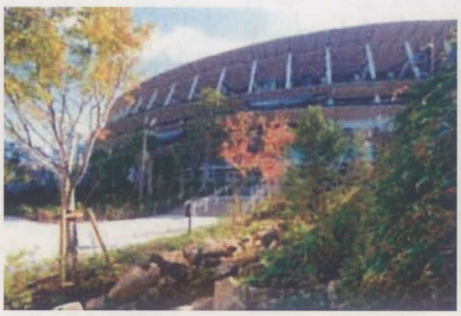
周辺環境との調和



周辺の地域特性を活かした3つのゾーニング

高さを抑え、周囲に溶け込むスタジアムに

連続した縦格子の「軒庇」とプランター



水生植物で彩られた「せせらぎ」

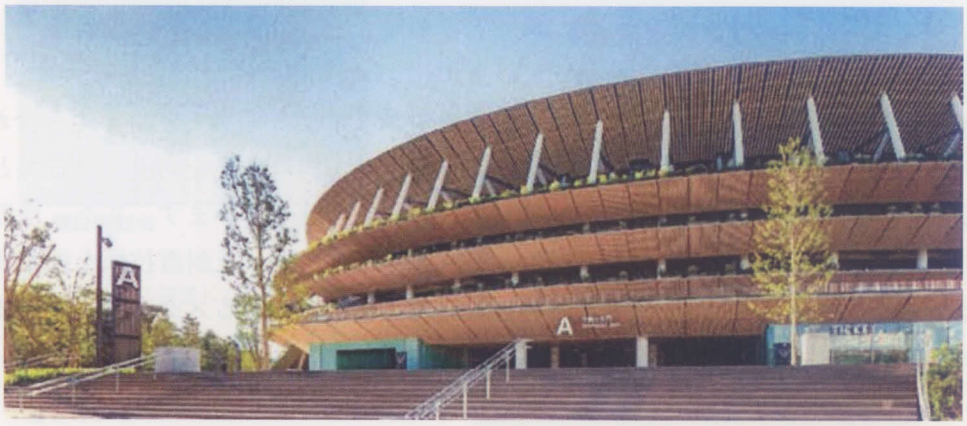
5階に設けた回廊スペース「空の杜」

優しい温もりと臨場感に溢れる新時代のスポーツの殿堂！

杜のスタジアムは、日本の伝統建築の特徴を継承した軒庇の連続した水平ラインと深い陰影によって神宮の杜の木々と調和し、軒庇の木と緑の外観によって、人々に優しい温もりを提供しています。軒庇はナショナルスタジアムとして、47 都道府県から調達したスギ材（沖縄県はリュウキュウマツ）をスタジアムの方位に合わせて配置しています。内観の大屋根の構造にも木を用い、観客を優しく包み込みます。森の木漏れ日をイメージした観客席は、5 色のアースカラーをモザイク状に配置し、人で賑わっているかのような効果をもたらします。車椅子席を上層スタンドにも設け、ユニバーサルでみんなが利用しやすく観戦しやすい、すり鉢状の 3 層スタンドは、選手との一体感と臨場感が生まれます。

日本の伝統建築の特徴を継承した軒庇と木の温もりに溢れる外観

神宮の杜の中で、軒庇の木と緑の外観が周辺環境と調和し、人々を優しく包み込む



軒庇はナショナルスタジアムとして 47 都道府県の木をスタジアムの方位に合わせて配置

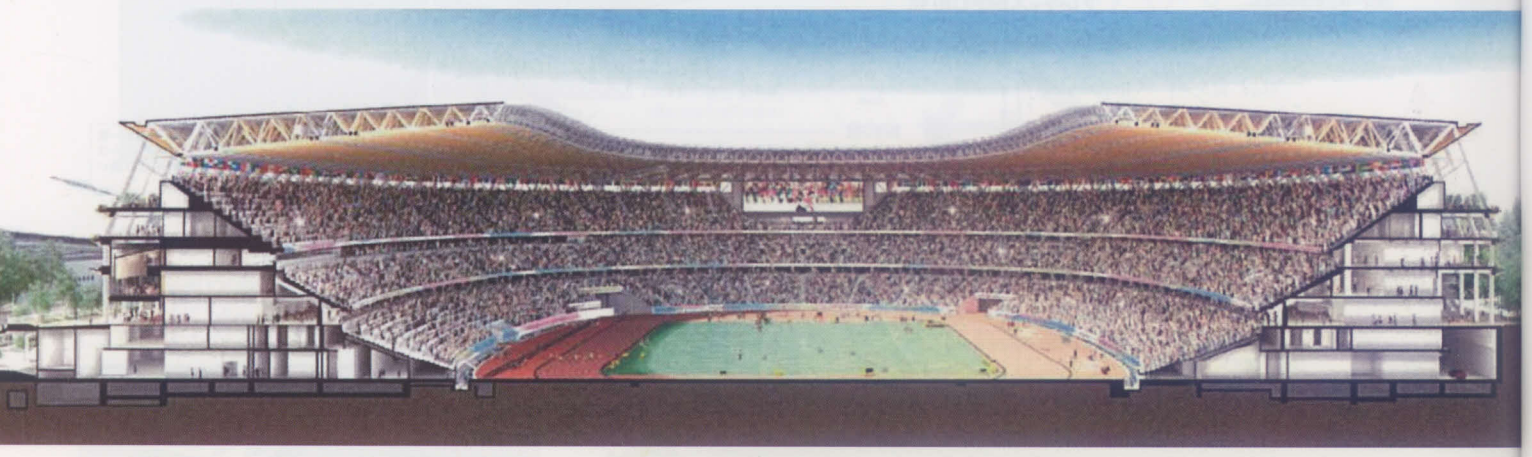
森の木漏れ日の観客席

濃茶・深緑・グレー・黄緑・白の 5 色の観客席をモザイク状に配囲。空席が目立たない木漏れ日を創出させる観客席を実現。

見やすさや快適性に配慮した車椅子席

一般観客席と同じ視線で楽しむことができる、上層スタンドに設けられた車椅子席と同伴者席。

視認性に配慮し、アスリートと観客の一体感を創出



観客席からトラック・フィールドまでの距離が近く、選手との一体感が生まれるすり鉢状の 3 層スタンド。大屋根の木に包まれた温かみのある日本らしいスタジアムとなっている

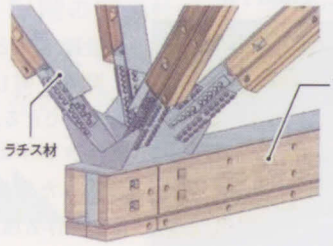
これが新しい「国立競技場」だ！

大成建設の大空間技術を結集したスタジアム

限られた工期で高品質かつ耐久性の高い建物を建設するために、設計チームと施工チームが一体となり、設計の初期の段階から施工性を考慮し品質の作りこみを行うフロントローディン手法を積極的に活用しています。巨大な片持ち屋根とスタンドは同じ構成のフレームを周方向に繰り返すシンプルな鉄骨造を基本として、施工の品質とスピードを確保しました。また、天候に左右されるコンクリート工事が主体となる基礎や観客席部分にはプレキャスト部材（工場等で事前に製造された部材）を採用する等により、建設現場での工事量を大幅に削減し工程の促進などに大きく貢献しています。

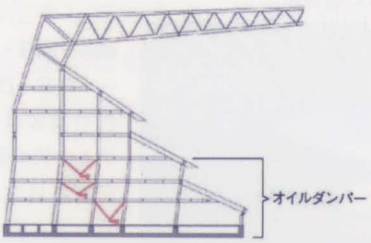
耐久性や安全・信頼性を高めるための新しい技術も数多く採用しています。
国立競技場の象徴となる大屋根は1970年代に普及した大成トラスの技術を継承しながら鉄骨と木材を組み合わせたハイブリッド部材を採用しています。これにより屋根部分の重量を軽減しつつ構造性能を向上させるとともに、観客やアスリートに木の温もりが感じられる豊かな空間の演出にも大きく貢献しています。また、地震時の安全性・耐震性を確保するために、ソフトファーストストーリー制振と呼ばれる優れた耐震技術を採用するなど、大成建設の数多くの設計・施工実績を踏まえた大空間技術を結集し、世界に誇れるスタジアムを完成させたのです。

A：鉄骨と木材を組み合わせた温かみのある大屋根

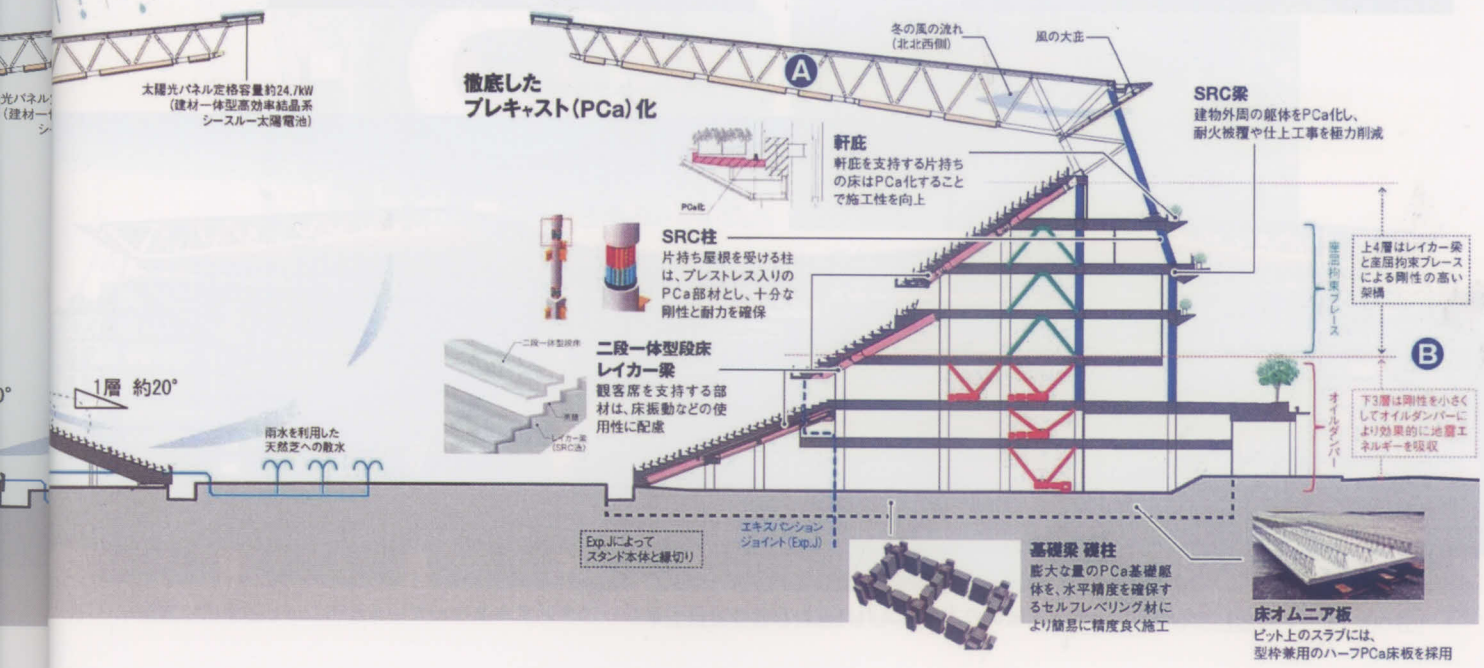


屋根構造に木を用い、木の温かみと日本らしさを感じられる空間を演出

B：耐震性に優れたソフトファーストストーリー制震構造



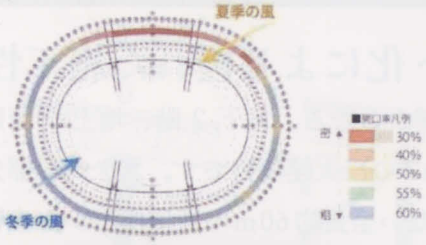
柔らかな下層階で、オイルダンパーにより地震エネルギーを効率よく吸収する制震構造を採用

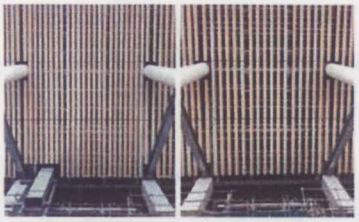


自然の力を活かし、快適に観戦できる環境をつくる

周辺の自然と調和するコンセプトのもと、「風」「水」「光」などの自然エネルギーや資源を最大限有効活用する工夫が施されています。
「風の大庇」は、夏の風をスタジアムに取り込むことにより競技場内の温熱環境を大幅に改善します。無風時には夏の暑さ対策として185台の気流創出ファンやミスト冷却設備も各所に設置し、「風の大庇」と共に快適な観戦環境を創出します。
環境対策として「井水・雨水・厨房排水利用システム」などの資源循環やBCPに寄与するシステムの採用、大屋根先端に設置した「建材一体型高効率結晶系シースルー太陽電池」、天然芝の健全な育成に配慮した「ガラストップライト」などを採用しています。
このような自然エネルギーや資源の活用は、CO2ランニング削減やランニングコスト削減にも寄与しています。

夏も冬も、心地よい風をスタジアムに

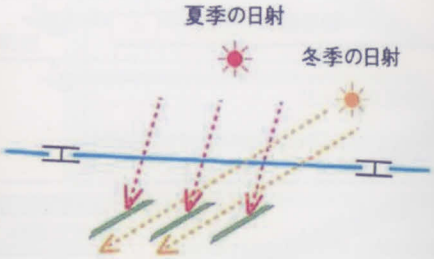




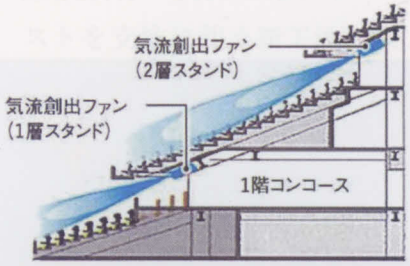
開口率35%　開口率50%

外周最上部に設置した「風の大庇」は、アルミ製のルーバーで、季節風の取り込みに配慮。方角により開口率を変えている

自然の光を天然芝へ

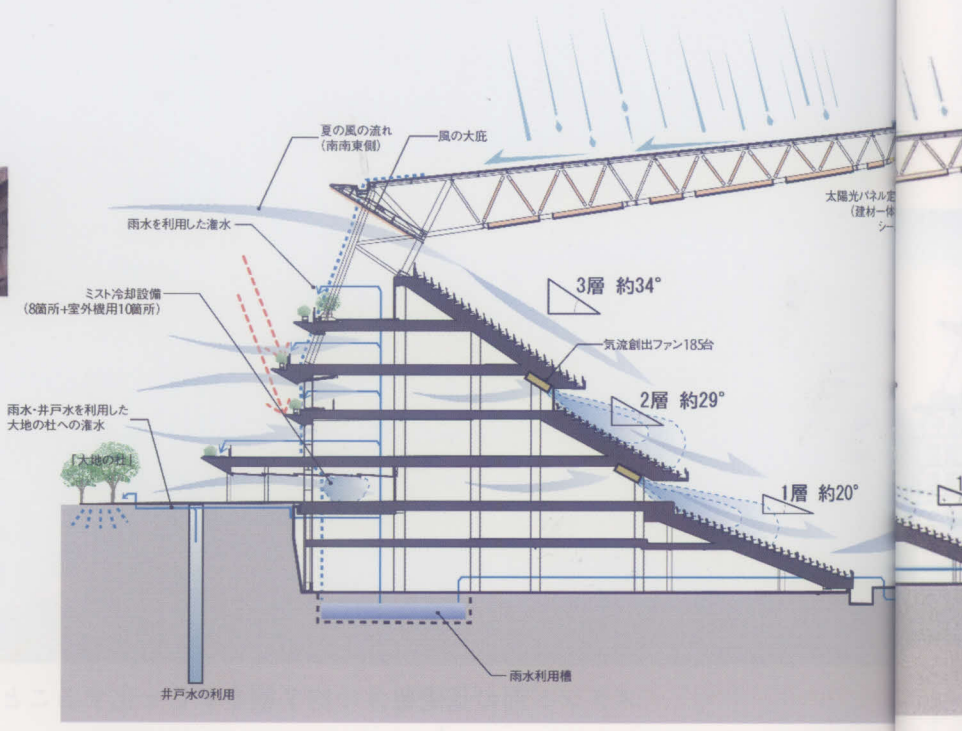


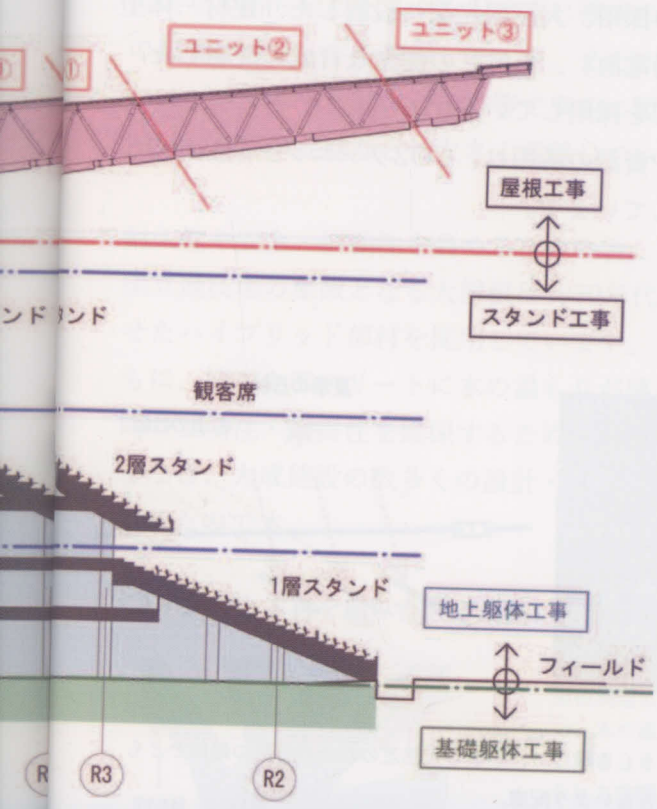
屋根の一部には「ガラストップライト」を設けて、冬季の天然芝のための日照の確保とともに、夏季は観客席に直射日光が当たらないよう配慮。



気流創出ファン
(1層スタンド)

無風時に観客の体感温度を下げる対策として、合計185台の気流創出ファン（首振り機構内蔵）を設置し、快適な観戦環境創出。





ＰＣａ化・ユニット化による優れた施工性

国立競技場は３層のスタンドからなる、地下２階、地上５階建て、延べ床面積約192,000m2の巨大建築物です。スタンド部分の約47mの高さには支柱のない全長約60mの大屋根がかかる特殊な構造をしています。

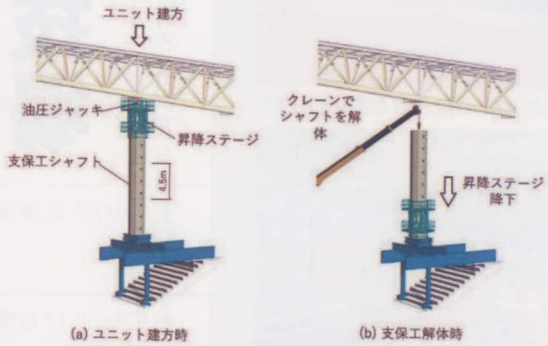
このような巨大かつ特殊な建築物を限られた工期で、高品質かつ安全に建設するために、プレキャスト（ＰＣａ）化・ユニット化工法が用いられました。これによりスタンド鉄骨、躯体工事、段床ＰＣ工事、屋根工事を同時施工が可能になったのです。

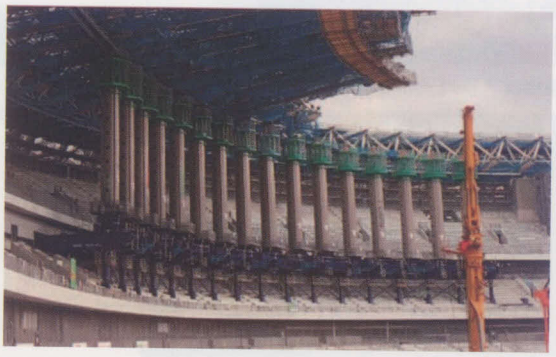
基礎躯体・スタンド工事では、工場で精密に製作された数多くのプレキャスト部材が、建設現場に正確に据え付けられました。

一方、屋根工事においては、地上で組み立てた252個の鉄骨ユニットを大型クレーンで吊り上げて約50m上空で取り付けるスカイジョイント工法が用いられました。競技用照明や音響などの重要設備も設置角度や方向などが事前にシミュレートされ、地組みと同時に鉄骨ユニットに組み込まれました。

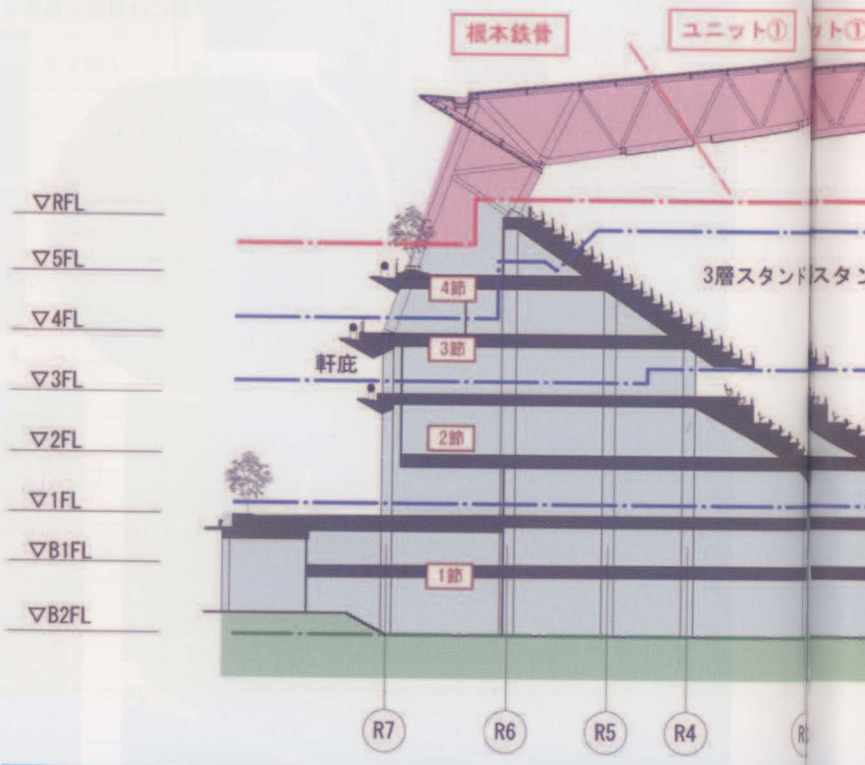
スタンド部の基礎躯体の約７割をＰＣａ化することで工程促進を図った

これが新しい「国立競技場」だ！





屋根鉄骨の支保工はタワークレーンマストを支柱に使う新工法「T-CAPS」で施工。効率的な建方（a）と解体（b）を可能とし、工期短縮と安全性の向上を実現

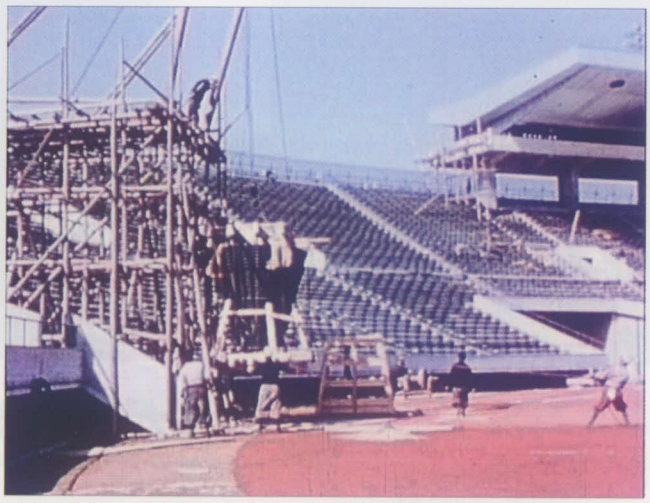


1つの屋根フレームを3つの屋根ユニットに分割しフィールド内で地組したのち、クレーンで吊り上げて設置

旧国立競技場

日本の威信をかけて建設された新スタジアムは工期わずか14ヶ月という急速施工によって完成！

明治神宮外苑競技場の解体は発破を駆使して行われた。
飛び散るコンクリートは畳で防御！



工事の終盤には直径・高さ2.1m、重さ2.6tの聖火台を備え付けた

現場に据えられた大型のバッチャープラント。暑い夏場、コンクリート打設の最盛期を迎えた

トラック選定はミニコースを作って検証

完成した国立競技場。当初は楕円形だった

一段一段コンクリートを流し込んで作ったスタンド

Construction 1958

旧国立競技場の建設が始まったのは1957年。前年の経済白書が「もはや戦後ではない」と高らかに宣言した通り、世の中では戦後復興を遂げた日本の国力を世界に示そうとの機運が高まっていました。その絶好の機会として、アジア競技大会、さらにオリンピック招致を視野に計画されたのが旧国立競技場でした。

旧国立競技場の前身は、大正時代に造営された明治神宮外苑競技場。戦前はここで数々の大会が開催されました。戦後の米軍の接収を経て、再び日本人の手に取り戻したこの地に、世界に冠たるスタジアムが築かれたのです。

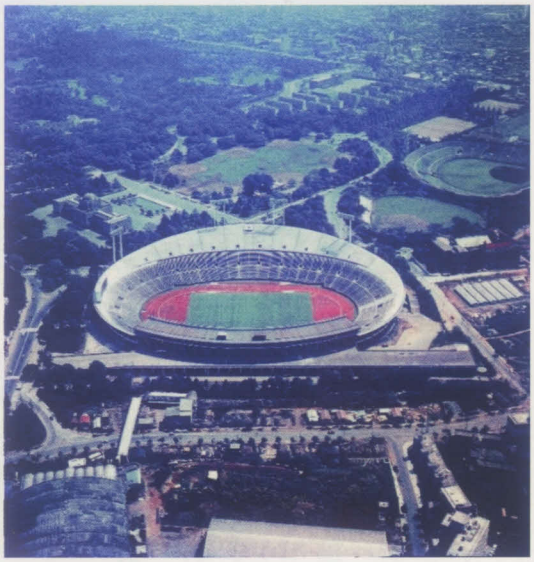
工事は明治神宮外苑競技場の解体からスタート。都内で禁止されていた火薬の使用が特別に許可され、ダイナミックな発破作業が連日行われました。解体工事を2カ月で終え、いよいよ東洋一を誇る収容人数5万人のスタンド工事に着手。約3万㎥もの膨大なコンクリートを賄うため、生コン工場のごとき巨大なバッチャープラントが設置され、急ピッチで工事が進められました。一方、選手の記録を左右するトラック選定には慎重にも慎重が期されました。表面には当時世界的に流行していた人工土アンツーカーを採用。50mの試走路をつくり、元オリンピック選手に何度も走ってもらい、下地となる砂利や土などの配合を決定したのです。

旧国立競技場の歴史		
昭和 33 年(1958 年)	3 月	旧国立競技場完成(着工：昭和 32 年 1 月～)
	5 月	第 3 回アジア競技大会
昭和 34 年(1959 年)	10 月	第 14 回国民体育大会
昭和 38 年(1963 年)	8 月	増設工事完了
昭和 39 年(1964 年)	10 月	第 18 回オリンピック東京大会
昭和 42 年(1967 年)	8 月	第 5 回ユニバーシアード東京大会
昭和 43 年(1968 年)	1 月	第 47 回天皇杯全日本サッカー選手権大会
		(以降毎年開催)
昭和 50 年(1975 年)	1 月	第 12 回日本ラグビーフットボール選手権大会
		(以降 2004 年まで毎年開催)＊2001 年を除く
昭和 52 年(1977 年)	1 月	第 55 回全国高校サッカー選手権大会
		(以降毎年開催)
昭和 54 年(1979 年)	11 月	第 1 回東京国際女子マラソン
		(以降 2008 年大会終了まで毎年開催)
		＊1990 年を除く
昭和 56 年(1981 年)	2 月	第 1 回東京国際マラソン
		(以降 2006 年大会終了まで毎年開催)
		第 1 回ヨーロッパ／サウスアメリカカップ
		[トヨタカップ] (以陥 2001 年まで毎年開催)
平成 3 年(1991 年)	8 月	第 3 回世界陸陸上競技選手権大会
平成 5 年(1993 年)	5 月	J リーグ開幕戦
平成 8 年(1996 年)	6 月	三大テノール日本公演
平成 15 年(2003 年)	9 月	ジャパンラグビートップリーグ開幕戦
平成 26 年(2014 年)		56 年の歴史に幕を下ろす

オリンピックの舞台としての増築

オリンピックのメインスタジアムにふさわしく増設された国立競技場。

当初、南側スタンドにあった聖火台は、東京オリンピック開催のため増設されたバックスタンド中央最上段に移設された



増設後の航空写真。
バックスタンド側部分が高くなったことが分かる

検証に実に4ヶ月を要しましたが、このアンツーカーの赤とグラウンドに敷かれた天然芝の緑は、その後、旧国立競技場を彩る魅力の一つとなり、ここから数多くの記録とドラマが生まれることになったのです。

施工中は国内外の多数の視察団が訪れました。竣工直前には皇太子殿下（現上皇陛下）も足を運ばれ、現場は大いに活気づいたとのことです。「将来オリンピックに出て、ここに立ちたい！」「日本にこんな立派な競技場ができて、大いばりできます」。見学した子どもたちから寄せられた作文も励みになり、所長以下80名の社員、多くの作業員たちの奮闘の結果、工事は14カ月の短工期で完遂しました。アジア競技大会も成功裏に幕を閉じ、この実績から東京でのオリンピック開催が決まったのです。

その後1年半をかけて、座席数の拡張や聖火台の移設などの増設を行い、約7万1千席の大スタジアムとなった旧国立競技場は、世界中の注目と期待を集めた東京オリンピックの舞台として、日本のスポーツ史にその名が刻まれたのです。

東京オリンピック以降も、数多くの大会で使用され、日本のスポーツの聖地と言われた旧国立競技場も、老朽化と新しい国立競技場への建て替えの為に、惜しまれつつ、2014年に解体工事が開始されたのです。

1964 Tokyo Olympic

地図に残る仕事。®

国立競技場プロジェクトは、２０１６年1月に設計が開始され、同年１２月に本体工事に着手し、２０１９年１１月に竣工し引き渡しが行われました。

設計部門、技術開発部門、建築部門、土木部門をはじめ、プレキャスト製造工場、関連の工事業者などが一体となった取り組みが行われ、大成建設の保有する多くの技術、開発技術及びノウハウだけでなく、専門工事業者や職人の技術ノウハウが惜しみなく投入されました。そして、一日最大約２８００人、延べ約１５０万人の工事関係者が働く巨大現場は、計画通り完成し発注者のもとに届けられたのです。

旧国立競技場は昭和３０年代から約５０年間、『日本のスポーツの聖地』として、人々に愛されてきました。同様に、新しく建設された国立競技場も日本のスポーツの中心として多くの人々に愛され続けるでしょう。アスリートの活躍の場となり、観客に感動を与え、スポーツの感動を世界に発信する。そんな、明るい未来への発信基地にならんことを期待したいと思います。（大成建設㈱社内報「たいせい」を改編）

特集1　首都圏で活躍する一高卒業生

「とっぱずれからの脱却」

ヤマサ醤油株式会社　成田工場
物流センター　小泉　一昌（昭和57卒）

1986年（昭和61年）、まだ日本がバブル景気に浮かれる少し前、信州大学農学部（長野県伊那市）から、縁あってヤマサ醤油(本社・千葉県銚子市)に入社。最初の5年間は、品質管理で微生物検査・判定を行い、その後、醤油やつゆ・たれの配合・充填・包装などの現場、醤油醸造の現場などを担当し、2011年（東日本大震災）の年に成田工場の立ち上げに参加して以降、成田工場に勤務している。

江戸時代の醸造の様子

ヤマサ醤油の歴史

ヤマサ醤油を創業した初代濱口儀兵衛が紀州から銚子に渡り、ヤマサ醤油を創業したのは1645年（正保2年）。漁師として成功をおさめ銚子外川港を作った、紀州出身の人物に刺激されて銚子での商売を始めたのではないかといわれています。紀州から黒潮に乗ると房総半島にたどり着くことから、房総には白浜・勝浦など紀州と同じ地名が多く存在します。18世紀になると、関西のしょうゆは竜野を中心に、紀州湯浅、小豆島の醸造業者が支えていくことになり、江戸においては、関東の中心的産地は、銚子、野田、そして土浦でした。

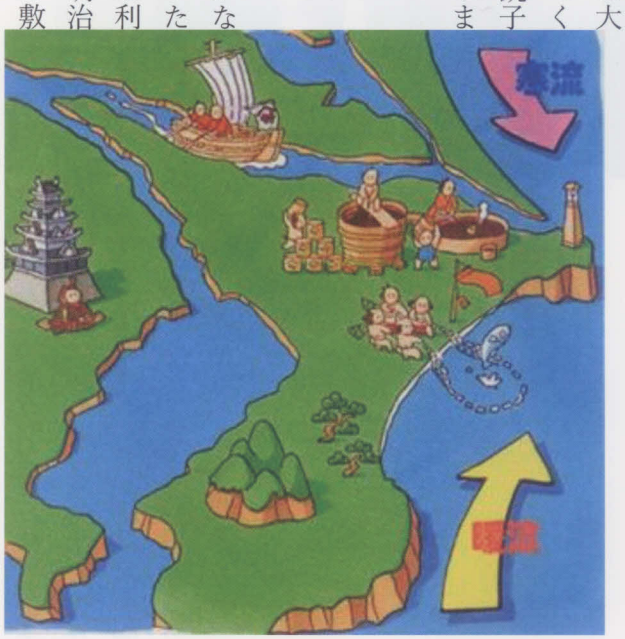
ヤマサマークの右肩にある「上」の字ですが、これは、江戸時代の末期に、江戸幕府から特に品質の優れたしょうゆと認められ「最上醤油」の称号を得た時の証しです。今でも品質の良い製品づくりを忘れないために、上の字をつけ続けています。

どうして銚子で醤油醸造

銚子で醤油づくりが盛んになったのは、実は気候風土に大いに関係があります。太平洋に突き出している銚子は、寒流(親潮)と暖流(黒潮)がぶつかっているために、夏涼しく冬あたたかで、しかも湿度の高い海洋性の気候なのです。夏の最高気温は30℃以上になることはあまりありませんし、冬の最低気温は氷点下になることもほとんどありません。そして気候風土のほかにも、銚子で醤油づくりが発達した理由には地理条件も関係しています。昔、利根川を利用して江戸まで醤油を運び、帰りに関東平野の大豆や小麦を銚子まで運んでくることができた便利さが、銚子での醤油づくりを発展させました。

輸送の変化

1645年の創業以来かなり長い間、原料や出来上がった醤油を利根川などの水運を利用して運送していました。明治になり国鉄が全国に線路を敷



き、日本全体の物流を担ってゆくようになると、工場構内に線路を引き入れ、構内は自社所有のディーゼル機関車による運用を行い、貨車による原料の受入れと製品の出荷を行うようになりました。今でも構内の各所に、積込み用のホームとして利用した段差のある場所が残っています。

その後、道路の整備が進むと道路を使った物流であるトラック輸送に変わっていきました。貨車により最寄りの貨物基地へ輸送され、トラックに乗せ換えて配送するよりも、トラックで直接配送したほうが便利になってきたため、貨車での輸送量が減っていきました。それ以降、原料・資材の受入れと製品の配送は、ほとんどトラック輸送になりました。銚子は北・東・南の3方を海に囲まれ、トラックによる物流に置き換わると道路整備の遅れた東のとっぱずれに生産・在庫拠点があることになってしまいました。

とっぱずれからの脱却

この状況を解決するため、主要配送先の近くに物流センターを設置することを長年にわたって検討し、老朽化した生産ラインの更新も合わせて、2011年に成田工場を竣工しました。国内では初めて、銚子以外の工場建設になりました。これにより、成田工場から首都圏のお客様は近くなり、銚子と比べて往復で3時間の短縮になりました。

私もこの工場の立ち上げに参加しました。他メーカーの工場・物流センター同様、立ち上げ当初は大変でした。当初、1～2か月は、朝7時から夜12時ごろまで工場にいることが続きました。（通勤も自家用車で、銚子～成田は1時間かかります）

仲間の何人かは、工場で寝泊まりしていました。今となっては、立上げの大変な時期を乗り越えて、今年でこの工場も9年目になります。これからも物流環境はさらに変わることになると思いますが、変化に対応してお客様に良い商品をお届けできるよう対応していかなければならないと考えています。ヤマサ醤油は常に「おいしさに本気」に取り組んで、よりおいしいものを提供し続けます。

（お知らせ）　一紅会主催　講演会

2020 年 3 月に予定していた講演会はコロナウイルスの影響で 3 回延期することになりました。

2022 年 3 月 12 日の開催を予定しております。詳細は決まり次第お知らせいたします。

第 23 回一紅会主催　春の講演会

建築家から見た これからのまちづくり

数々のまちづくり・建築プロジェクトに関わるかたわら、世界のまちをあちこち散歩しながら見つづけてこられた講師に、建築家としての目線から国内外のまちの昨今の状況をうかがいます。併せて、これからの地方都市の向かうべき方向も語っていただきましょう。

講　師：UG 都市建築代表取締役社長

山下 昌彦 氏（建築家・都市計画家）

<プロフィール>

1970 年	甲府一高卒業
1974 年	東京大学工学部建築学科 卒業
1976 年	東京大学大学院修士課程 修了
1976-1986 年	松田平田設計 在籍
1981-1983 年	ハンブルク大学/ フォン･ゲルカン･マルク事務所在籍
1986 年	独立
1989 年	GL 建築設計設立 代表取締役
1998 年	合併にて UG 都市建築となる 代表取締役

著書：「建築家だって散歩する」（コム・ブレイン 2008 年 8 月）
「甲府のまちはどうしたらよいか？」（山梨日日新聞社 2019 年 3 月）

その際は、ご参加のほどよろしくお願いいたします。

特集2　オリンピックに参加した一高生

2度のオリンピックの経験

1988年　ソウル大会
1992年　バルセロナ大会

―――恒吉　恵子さん（旧姓中込　平成元年卒）
アーチェリー選手として

恒吉さんは敷島中1年の時からアーチェリーを始め、甲府一高1年の時、全国高校総体で優勝。

同じ年、かいじ国体で少年女子個人3位、団体優勝を果たした。そして、1988年、ソウルオリンピックでは、甲府一高3年の時、アーチェリー界で初の高校生の日本代表として、オリンピックを戦った。

ソウルオリンピックの代表選考会は嵐の中で行われ、実力者が点を伸ばせず、恒吉さんが3位で3枠の代表に入った。国際大会の経験もなく、実力が足りないことも本人が一番わかっていた。絶対に届かない点数を目標に戦わなければならない厳しい状況であった。予選ラウンドではトップから96点を離され、54位で後半戦へ。順位を上げたものの52位で予選敗退した。

その後、気持ちを新たにして、「トップで代表になる」の強い決意を胸に日本体育大学に進学。1992年のバルセロナオリンピック選考は、決意どおり1位で代表の座を勝ち取った。最年少の前回から、最年長に変わっていた。しかし、バルセロナ大会も思い描いていた大会にはならなかった。

メダルが期待されていた男子とは違い、女子へのサポート体制は万全ではなかった。試合当日も起床や朝食の時間、会場に向かう交通手段の確認、他の代表2人の体調管理もやらなければならなかった。実力のかぎりを尽くしたくても、他の人のことを気にしなければならない状況で、2度目のオリンピックも47位で予選敗退という結果となった。

教員生活ののち、九州へ

バルセロナオリンピック後、世界選手権にも出場したが、次のオリンピックを目指す気力はなく、1996年山梨でのインターハイまで母校・甲府一高で教員として指導に携わったが、1997年の結婚を機に山梨から離れ競技からも距離を置いた。

山梨にいた時は、常に「アーチェリー」「オリンピック代表」の言葉がついて回ったが、今は福岡県北九州市で暮らしており、県外で暮らしていると、だれも彼女のことを知らず一人の人間として楽だったとのこと。現在は子育ても一段落し、昨年から全日本連盟のスタッフとして小中学生の指導に携わるようになった。20年以上の時を経てアーチェリーの世界に戻り、後輩の育成に取り組んでいる。

「五輪を経験できたことは、すごく大きいが全てではない。でも五輪代表であったことは一生ついて回る。出た後に自分をどうしていくかが大事」とのこと。

電話で話を伺いました。

「アーチェリーを始めたきっかけは？」

かいじ国体で敷島町がアーチェリー会場に決定したのをきっかけに、敷島中学でアーチェリーをはじめた。かいじ国体の1986年に一高にアーチェリー部ができ、その年入学した2歳上のお姉さんが入部した。自分も一高でもアーチェリーを続けた。

「一高での思い出といえば」

高校生の部活動として行うアーチェリーは非常に楽しかった。一高のアーチェリー部にいれば、ほぼ県代表としてインターハイに出られて、インターハイの試合で活躍すると脚光を浴びた。しかし、オリンピックはいきなり世界レベルになるので厳しかった

一高の行事では、怒鳴られながら行った応援練習や強行遠足、強行遠足の時にお守りを作り、リンゴをもらったことなど行事や行事にまつわる記憶が印象的です。

「一高時代もっとやりたかったことがあれば」

敷島から自転車で通っていたので、部活と学校行事で精一杯、友達と遊ぶ時間がほしかった。一度骨折して部活が出来なかったときにその時間ができてとても楽しかったことを覚えています。

恒吉さんは今は福岡県在住ですが、たまには一高の同窓会(甲府でも東京でも)来てほしいと思いました。

特集3　「56年前(前回東京五輪)の甲府一高」

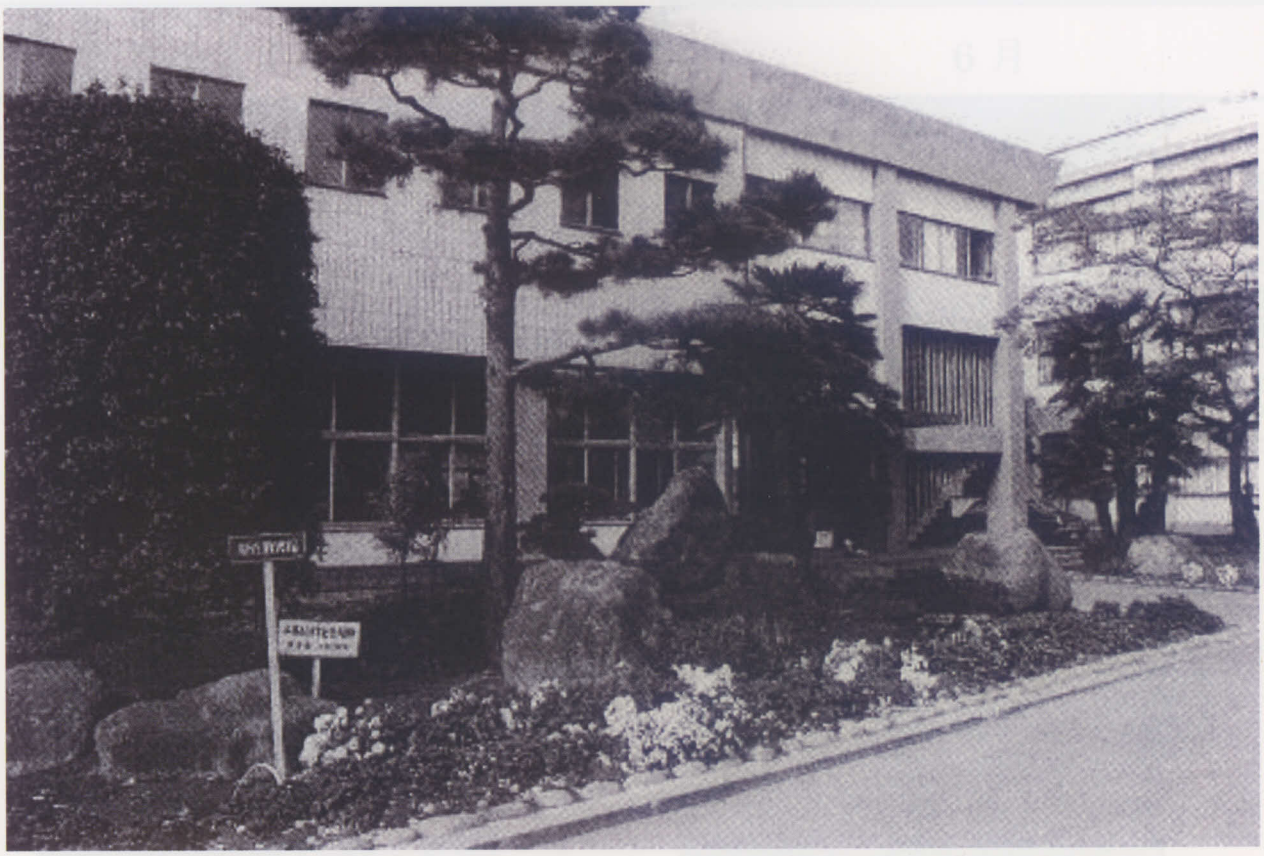
あの頃の一高

昭和39年、東京オリンピック開催のころ、日本も高度成長期を迎えていました。

その当時の一高を振り返ってみましょう。我々当番幹事（昭和57年）にとっても懐かしい一高です。

講　堂

旧　校　舎



日 新 ホ ー ル

図 書 館

一高の一年（令和2年度）

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学校行事も影響を受け、例年通りの行事が行えないことも多い一年でした。コロナ禍の中行われた行事について紹介します。

4月

入学式は4月8日の予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休校期間が延長される中で、式は中止、時差登校で入学手続きのみ行った。新入生242名が本校の門をくぐった。

入学後、間もなく行われる応援練習も中止。また、探究科のウェルカムキャンプも中止になった。PTA総会は書面決議になった。4月20日から、分散時差登校が始まった。

教材配付・ドライブスルー方式

5月

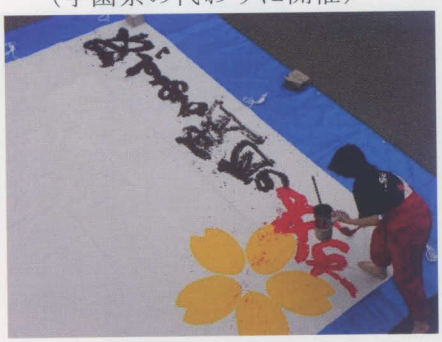
県高校総体は中止

1年生は5月に初めてのLHR

3年生は進路の2者面談

7月

書道部パフォーマンス
（学園祭の代わりに開催）



休業前集会　通常の集会の形に少しずつではあるが戻ってきた。）

学校説明会（YCC文化ホール）は中止になったが、WEBで開催

6月

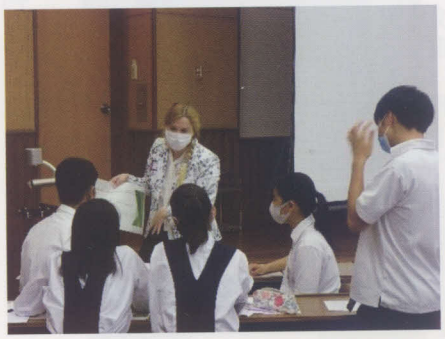
フェイスシールド着用授業

探究科基調講演(農林水産省経営局)

一高祭（学園祭）は中止

9月

イングリッシュプレゼンセミナー
探究科２年生



応援練習代替行事

8月

吹奏楽部定期演奏会(8/11)
例年は５月に実施

オープンスクール・探究科説明会

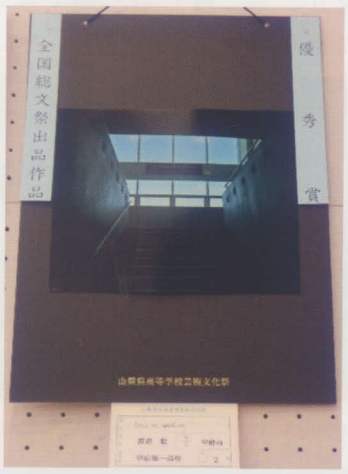
10月

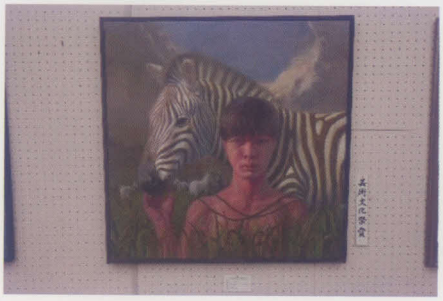
強行遠足が2年ぶりに実施(一昨年の強行遠足は台風19号の影響で中止)

創立140周年記念式典・講演会が本校視聴覚室で実施

コロナ禍のため、県内一日コースで実施

11月





山梨県高校芸術文化祭が開催され、芸術文化祭賞を4つの部門で獲得、令和3年度の全国高等学校総合文化祭に7つの部門が出場権を獲得

12月

伊勢志摩・京都方面に2泊3日

コロナ禍で修学旅行を中止する学校もあった中で、研修旅行を実施することができた

1月

校内ブランドサミット(探求科)

探究科企業訪問

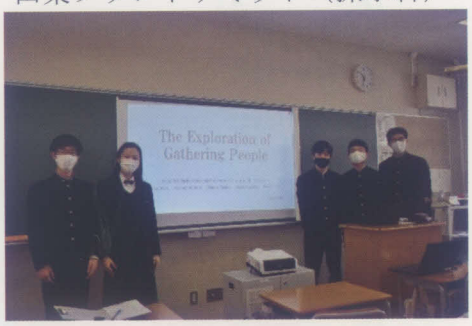
2月

同窓会入会式

3月

卒業生の進学実績は素晴らしかった。
国公立4年制大学合格者は161名で、内訳は、東京大学3名（文Ⅰ、文Ⅲ、理Ⅰ）、京都大学1名等であった。
共通テスト元年を見事に乗り切った

山梨ブランドサミット（探求科）



卒業式

2021年もコロナ禍で
思い通りに活動できない
ことも多いとは思うが
頑張れ一高生

Boys be ambitious!

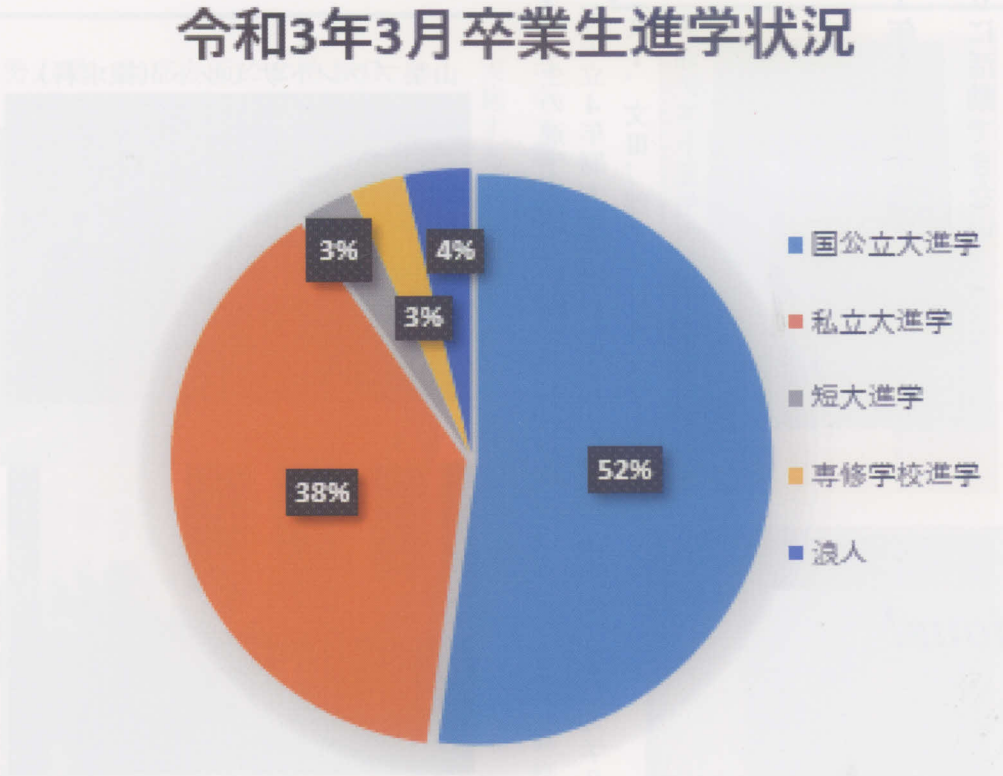
大きな成果をあげた令和3年3月の卒業生

令和2年度は、コロナ禍による休校に始まり、まさにだれも経験したことのないような一年間でした。それに加えて、大学入試は新しい制度に変わりました。「大学入試センター試験」は「大学入学共通テスト」に変更され、「一般選抜」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」の新しい入試区分となり、主体性や協働性など新しい評価の規準も導入されました。そのような中で、3年生の受験結果はまさに驚異的なものでした。

東京大学現役合格（3名）、京都大学（1名）をはじめ、国公立大学のべ161名の合格など数十年振りとなるような素晴らしい合格状況でした。これらは、もちろん生徒の頑張りによるものです。授業を大切にし、先生たちを信頼し、仲間と切磋琢磨しながら本物の実力をしっかりと身に付けられたことが何よりも大きかったと思います。さらに、それを献身的にサポートしてきた担任の先生方をはじめ多くの先生方の努力も大きな力となりました。

また近年、一高で力を入れている「探究活動」や「総合的な探究の時間」などで身につけた知的好奇心、論理的思考力、そしてプレゼンテーション能力などが入試の上で実を結んだものと考えられます。

学校推薦型選抜や総合型選抜においても、多くの生徒が面接で各自の探究の取り組みを熱く語り、合格につなげました。また、つらい受験勉強を耐える力は、一高での強行遠足や応援練習によっても鍛えられたと考えられます。これらの経験は、生徒本人にはもちろん、学校にとっても大きな財産になると同時に、後輩の在校生にも最高の見本となるでしょう。



新しい大学入試に対応した一高の進路指導の成果

国公立大学・有名私大に多数合格

令和3年度入試（令和3年3月の卒業生276名 普通科195名 探究科81名）

大学合格状況　東大３名 京大1名合格

国公立大学合格　161名

	普通科	探究科
北海道大	1	
東北大		3
茨城大	2	
筑波大		1
埼玉大	2	1
千葉大	2	2
東京大		3
東京外大		1
東京学芸大	1	4
新潟大	2	
金沢大	1	3
山梨大　教育	11	2
山梨大　工学	8	2
山梨大　生命環境	2	4
山梨大　医－医	1	2
山梨大　医－看護	2	3
信州大	5	6
静岡大	3	3
名古屋大		2
京都大	1	
大阪大		1
神戸大		2
岡山大	1	1
国際教養大		1
東京都立大	1	1
横浜市立大	3	2
山梨県立大　国際政策	4	2
山梨県立大　人間福祉	4	
山梨県立大　看護	7	2
都留文科大	7	4
静岡文化芸大		4
名古屋市立大		1
和歌山県立医大	1	
その他	18	8
合計	90	71

主な私立大学合格数　563名

	普通科	探究科
青山学院大	1	1
学習院大	2	1
北里大	2	3
慶応義塾大		1
国際基督教大	1	
駒澤大	3	2
芝浦工大	2	5
上智大	1	2
成蹊大	1	3
成城大	4	6
専修大	12	5
創価大	9	2
中央大	6	5
津田塾大		2
東京女子大	3	6
東京農業大	2	1
東京薬科大	3	5
東京理科大	4	1
東洋大	16	3
日本大	6	4
日本体育大	2	
法政大	5	7
武蔵野大	19	2
明治大	2	4
明治学院大	3	4
立教大	5	5
早稲田大	3	1
神奈川大	18	5
山梨学院大	36	2
山梨英和大	21	1
健康科学大	7	
同志社大	2	
立命館大	4	10
その他	200	59
合計	405	158

祝

創立140周年 第61回 甲府中学・甲府一高東京同窓会

Boys be Ambitions!

William Smith Clark

昨年はたくさんのご支援をいただきまして誠にありがとうございました

百新会　第60回当番幹事 創立100周年（昭和56年）卒業生一同

祝

第 61 回

甲府中学・甲府一高 東京同窓会

東京さんさん会

（昭和 33 年卒一同）

労災／救急指定病院／人間ドック・健診

公益財団法人 山梨厚生会

塩山市民病院

ENZAN CITIZEN HOSPITAL

院　長　多和田　眞人

山梨県甲州市塩山西広門田 433-1 ☎0553-32-5111（代）

甲州手彫印章・天文易学印

日章株式会社

代表取締役

芦澤　仁（S57年卒）

〒409-3244

山梨県西八代郡市川三郷町岩間1354-1

TEL:0556-32-2910(代) FAX:0556-32-2588

Nissho

URL http://nissho-co.com/

総合建設業 中込建設工業株式会社

建N設

中込建設工業(株)一級建築事務所

代表取締役　中込 正男(昭和56年)

〒400-0049 山梨県甲府市富竹一丁目8-17

TEL055-228-7653FAX055-228-7601

E-mail nakagomi.kk@mx6.nns.ne.jp

あいおいニッセイ同和損保

代理店 望月事務所

望月 真（昭和53年卒）

〒400-0042 甲府市高畑2－17－12

TEL 055-228-6677

FAX 055-228-5596

もも、すもも、ぶどう狩り・直売・宅配便・取扱い専門店

光　果　園

園主 鈴木 利政

〒406-0815 山梨県笛吹市御坂町尾山 251（店）

TEL／FAX (055)263－5291（7月上旬～10月下旬）

携帯 090－3534－7306

御中元、御贈答品、承りますので、お気軽にお申し付け下さい！

きっと、叶う。きっと、出会う。

日本結婚情報システム

JMC 甲府

〒400-0031　無料カウンセリング実施中！

甲府市丸の内1丁目16-13

ﾔﾏｻﾋﾞﾙ5F(甲府市役所東)

営業時間 10：30～18：00 定休日 火・水

☎ 055-232-5222

clinic Hirose
廣瀬醫院
院長 廣瀬 乾三
Kenzo Hirose
〒405-0011 山梨県山梨市三ヶ所 1141
TEL.0553-20-1555 FAX.0553-20-1557
E-Mail:hirose-iin@fruits.jp

第17回 201ゴルフ会

月日：2020年3月20日
場所：昇仙峡カントリークラブ

参加者

S56年卒 大沢 正聖・土屋 浩之・半田 忍・山口 芳宏
依田訓彦・渡辺 稔・渡辺 喜彦・小宮山 洋子
中込 美由紀・堀内 朋美・（協力金）小田切 仁
（協力金）中沢 信二・（協力金）山田 健児
S57年卒 飯野 信一・石井 孝明・石橋 弘基・上田 俊彦（優勝）
太田 清士(BG)・中山 辰人・杉山 誠（3位）
（協力金）芦澤 仁・（協力金）雨宮 利之
（協力金）小笠原 寛・（協力金）窪田 哲也
（協力金）小泉 一昌・（協力金）田中 聡
（協力金）西山 宏
S59年卒 （協力金）芹沢ひろみ
S60年卒 塚原 理宏・（協力金）小宮山 亮・（協力金）中村 哲
S62年卒 馬場 淳・杉山 靖
S63年卒 上田 和男（準優勝）・望月 歩（BB）
（協力金）渡辺 一志

起て撃て勝て！
甲府一高野球部

※創部1894年（明治27年）
「心はひとつ甲子園」
野球部部則
一、学生野球の本分に則り野球道に徹せよ
一、お互いに仲良く親睦を保ちチームワークの基を築け
一、上下の別なく敬礼を厳にせよ
一、部室の整理整頓は徹底的に行へ
一、なにごとにおいても一高生の模範となれ

甲府一高野球部 S56，57卒無尽会

くだもの．山梨
クダモノ ドット ヤマナシ

代表 中山 辰人(S57年卒)
朝採り当日出荷

〒400-0825 山梨県甲府市七沢町113
TEL 055-237-2571
FAX 055-233-2083
E-mail tatsu.n.0107@mx6.nns.ne.jp

BRAND NEW DAY COFFEE
https://brand-new-day.co.jp
KOFU SHOWA
KOFU EAST
HANATERRACE _kawaguchiko
FRUITS TERRACE _katsunuma
Management by RHINOCEROS Co., Ltd

寿々屋酒店
鈴木 天洋（昭和57年卒）
山梨県甲府市住吉1－1－17
TEL 055-233-1845

協賛者・協賛会社名（敬称略）

原 護
ダイナマイト代行
ＶＥＣＴＯＲ株式会社
窪田会計事務所

この他にもご協賛をいただきました。
本当にありがとうございました。

★令和３年度当番幹事（昭和 57 年卒）

幹事長　　太田清士

副幹事長　西山宏/木村充子/石井孝明/古屋賀章

事務局　　上田俊彦/河西香織/小笠原寛

懇親会部会　小笠原寛/中川美穂/平澤由美/河西香織

広告部会　石井孝明/古屋賀章/木村充子/西山宏/伊東尚子

会計部会　古屋賀章/石井孝明/村上麻里

日新鐘部会　小泉一昌/増村双葉/平山美香子/西山宏/小野裕司

IT 部会　中野幸一郎/末木　浩久

一紅会　村上麻里/宇野澤美穂/木村充子/平山美香子/中川美穂/伊東尚子/赤松美樹/石田英代

甲府　　中山辰人/三井裕美

★制作にご協力いただき、ありがとうございました

【ごあいさつ】

東京同窓会会長　清水昭さん(昭和 44 年卒)

一紅会会長　峯川文江さん(昭和 44 年卒)

甲府第一高等学校校長　小林俊一郎先生

【特集１　「首都圏で活躍する一高卒業生」】

俳優 筒井真理子さん（昭和 54 年卒）

茂田オフィス　米満拝さん

【特集２　「オリンピックに参加した一高生」】

恒吉(旧姓中込)恵子さん（平成元年卒）

望月歩さん（昭和 63 年卒）

【特集３　「56 年前(前回東京五輪）の甲府一高」）

甲府一高図書室司書　山本さん

山梨県立図書館

【現在の一高】

甲府一高　総務広報　内藤浩先生

甲府一高　総務広報　安達栄子先生

【その他資料提供】

山梨日日新聞

編集後記

2019 年 9 月の引継ぎを経て、活動を開始しました。いくつかの記事の情報収集も進み、そろそろ記事としてのまとめを行おうと考えていた 2020 年 4 月、首都圏に新型コロナウイルス感染症対策・特別措置法に基づき緊急事態宣言が発令された。それからは当番幹事の幹事会の打合せもグループ LINE 通話による電話会議になった。その後、2020 年度の総会・懇親会は中止となり、記事・広告にご協力いただいた皆さんにお詫びを申し入れました。

2021 年 4 月の東京同窓会役員会の協議により、5 月から再度、準備活動を再開しました。しかしながら幹事会の打合せは電話会議を継続せざるを得ず、総会・講演会も限定した人数の会場参加とオンライン視聴という今までと違う形式になりました。

記事・広告にご協力いただきました皆様に感謝し、発行できたことをうれしく思っています。

日新鐘部会　小泉

コロナ禍により、昨年11月21日に一高で、総会のみの開催となりましたが、皆様のご支援ご協力で、令和2年度当番幹事の務めを果たせました。ありがとうございました。昭和63年年卒業生一同

総会のみの開催となりましたが、ありがとうございました

昭和57年卒業生一同